

平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。
市教育委員会では、本調査の結果を公表することで、地域の皆様に本市の児童生徒の現状を理解していただき、学校・家庭・地域・行政が連携し、児童生徒の健全な育成を図っていきたいと考えております。今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

1 実施日・調査対象・調査内容・調査方式について

(1) 実施日 平成31年4月18日(木)

(2) 対象学年 小学校第6学年、中学校第3学年(市内全小中学校)

(3) 調査内容

①教科

小学校第6学年 国語、算数

中学校第3学年 国語、数学、英語

※ 平成30年度まで、国語、算数・数学はA問題(知識・技能)とB問題(活用)に分かれていたが、平成31年度より知識・技能及び活用について、一体的に問うこととなった。

※ 中学校 英語は今年度より加わり、今後、3年に一度実施の予定。「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題は45分。「話すこと」に関する問題は1学級あたり5分程度。

②質問紙調査

小学校、中学校とも学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等の調査を実施

2 小学校（教科）結果について

○平成31年度（令和元年度） 教科の平均正答率（％）

| 区分 | 国語 | 算数 |
|-------------|------------|------------|
| 白山市 (県差) | 72 (±0) | 72 (±0) |
| 石川県 | 72 | 72 |
| 全国 | 63.8 | 66.6 |

・国語、算数とも、全国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

(参考)平成30年度 教科の平均正答率（％）

| 区分 | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 理科 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 白山市 (県差) | 74 (-2) | 59 (-2) | 67 (-1) | 56 (-3) | 64 (-2) |
| 石川県 | 76 | 61 | 68 | 59 | 66 |
| 全国 | 70.7 | 54.7 | 63.5 | 51.5 | 60.3 |

3 中学校（教科）調査結果について

○平成31年度（令和元年度） 教科の平均正答率（％）

| 区分 | 国語 | 数学 | 英語 |
|-------------|------------|------------|------------|
| 白山市 (県差) | 75 (-2) | 61 (-4) | 55 (-3) |
| 石川県 | 77 | 65 | 58 |
| 全国 | 72.8 | 59.8 | 56.0 |

・国語は全国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

・数学、英語は全国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。

(参考)平成30年度 教科の平均正答率（％）

| 区分 | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 理科 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 白山市 (県差) | 78 (-1) | 63 (-2) | 69 (-2) | 50 (-2) | 71 (±0) |
| 石川県 | 79 | 65 | 71 | 52 | 71 |
| 全国 | 76.1 | 61.2 | 66.1 | 46.9 | 66.1 |

4 小学校、中学校 質問紙調査について

※質問事項に対し、表中の（○）は、県平均と比べて内容が良いことを示し、（△）は県平均と比べて課題があることを示している。

- (1) 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか。」の問いに対し、「1時間以上勉強する」と答えた児童生徒の割合

(%)

| 区分 | 小 6 | 中 3 |
|-------------|-----------------|-----------------|
| 白山市 (県差) | 75.4 ○(+0.6) | 61.0 △(-4.6) |
| 石川県 | 74.8 | 65.6 |
| 全国 | 66.1 | 69.8 |

小学校は県平均と同程度だが、中学校は県平均をやや下回った。

今後も小学校では引き続き、中学校では一層、家庭学習の定着に力を入れていく必要がある。

平成30年度白山市
小学校 76.1 (県差+0.1)
中学校 69.3 (県差-0.1)

- (2) 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)の問いに対し、「30分以上する」と答えた児童生徒の割合

(%)

| 区分 | 小 6 | 中 3 |
|-------------|-----------------|-----------------|
| 白山市 (県差) | 42.9 ○(+2.7) | 29.4 ○(+3.9) |
| 石川県 | 40.2 | 25.5 |
| 全国 | 39.8 | 27.0 |

小・中学校ともに県平均をやや上回った。日常的に読書をする習慣が定着している児童生徒が多い。

今後も、読書推進の取組を継続する。

平成30年度白山市
小学校 43.6 (県差+2.8)
中学校 34.0 (県差+5.9)

- (3) 「将来の夢や目標を持っていますか。」の問いに対し、「持っている」と答えた児童生徒の割合

(%)

| 区分 | 小 6 | 中 3 |
|-------------|-----------------|-----------------|
| 白山市 (県差) | 62.3 △(-1.5) | 43.3 △(-0.6) |
| 石川県 | 63.8 | 43.9 |
| 全国 | 65.9 | 44.9 |

小・中学校ともに県平均と同程度だが、今後、一層のキャリア教育の充実が求められる。

平成30年度白山市
小学校 62.5 (県差-4.8)
中学校 43.5 (県差-0.2)

5 まとめ

(1) 小学校の教科分析

国語では、目的に応じて文章全体を概観して効果的に読むことについては県の平均をやや上回ったが、文中の漢字を正しく用いる力が不足していた。

算数では、棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることについては県の平均をやや上回ったが、示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に除法に関して成り立つ性質を記述することに課題があった。

今後は、教師の授業力向上による学力の向上の取組を各校で継続するとともに、学力調査から見えた学校ごとの課題に応じた取組を推進し、弱点の克服に努める必要がある。

(2) 中学校の教科分析

国語では、文章の情報を整理して内容を捉えることや、話し合いの話題や方向を捉えることに課題がある。普段の授業から文章の概要や話し合いの論点を捉える機会を確保することが求められる。

数学では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することや、グラフ上の点の関係について、事象に即して解釈することに課題がある。適用問題の確実な実施、補充学習等により定着を図る必要がある。

英語では、基本的な英作文の力、日常的な話題についての情報の正確な聴き取り、読み取りに課題がある。英作文の添削による基礎的な文法事項の指導、及び教科書のみならず、様々な英文を読んだり聞いたりする機会の確保により、要点や概要を掴む力を養うことが必要である。

今後は、教師の授業力、指導力の向上のため、教科部会の活性化を図り、指導主事の要請等、外部からの評価、指導を積極的に取り入れていく必要がある。また、学力調査の丁寧な分析から、学校としての課題に焦点化した取組が求められる。

(3) 家庭の生活習慣・学習習慣等

家庭での学習時間については、普段（月～金曜日）の1日あたりの学習時間が1時間を超える児童生徒の割合は、小学校では県平均をやや上回り、中学校ではやや下回った。今後は、小学校では引き続き、中学校では一層、家庭学習の充実・定着に向けて保護者と連携していく必要がある。

将来の夢や目標を持つ意識については、小・中学校ともに県平均をやや下回っており、キャリア教育の一層の充実が求められる。

(4) 図書館教育

学校司書を全校配置し、読書環境が整備されていることで、小・中学校とも日常的に読書をする習慣が定着している。

(5) 学力向上に向けての具体的な取組

① 確かな学力の定着に向けた授業づくりの推進

- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
 - ・ 子どもがわくわくし、自ら学びたくなる導入場面づくり
 - ・ 育みたい資質・能力にぴったりで、子どもがやってみたい！確かめてみたい！と思う課題提示づくり
 - ・ 目的と必要感のある交流場面づくり
 - ・ 「できた！」「わかった！」の声があふれる終末場面づくり
- ◎ 知識・技能の確実な習得のための繰り返し学習の重視
 - ・ できるまでやりきることの重視
 - ・ 検証の場の設定
 - ・ 組織的・継続的個別指導の重視

② 学びを支える学習基盤づくりの推進

- ◎ 組織的指導体制の確立
 - ・ 焦点化した共通実践「そろえる・やりきる・確かめる」の推進
 - ・ 教材・教具の共有化「学年で・学校で・年度を超えて」の推進
 - ・ 教師が学びあうことができる環境づくり
 - ・ ベテラン・中堅・若手それぞれが持ち味を發揮できる雰囲気づくり
- ◎ 温かい学級づくり
 - ・ 生徒指導の三機能「自己決定・自己存在感・共感的人間関係」を大切にした学級づくり

③ キャリア教育の充実

- ◎ 将来への目的意識を持たせるキャリア教育
 - ・ 自己の生き方や、地域社会との関わりを考える学習活動の推進
 - ・ 進路、職業に関する体験活動を生かした学習の実践

④ 市教育センター研修の充実

- ◎ 授業づくり研修の充実
 - ・ 社会、理科、外国語の授業づくり研修の充実